

第46期
事業報告書

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

一般社団法人 環境創造研究センター
愛知県名古屋市東区東桜二丁目4番1号

第46期〔令和3年度〕事業報告

当センターは、昭和51年に愛知県知事認可法人として、地域における自然・社会の複合的環境に関する科学的研究を行うとともに、その体系化の確立と普及を図り、望ましい人間環境の保全と創造に寄与することを目的として設立され、その後、平成25年に一般社団法人へと移行し、丸9年が経過しました。

また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成15年に愛知県知事より「愛知県地球温暖化防止活動推進センター」の指定、その後、平成20年、25年に再指定、さらに、平成30年3月に向こう5カ年の指定を受け、地球温暖化に関わる情報の発信や地球温暖化防止活動の支援など、愛知県における地球温暖化防止活動の拠点としての役割も担い、現在に至っております。

さらに、平成30年4月に続き、令和3年4月に環境省中部地方環境事務所より、「中部環境パートナーシップオフィス(EPO 中部) 運營業務」の請負団体として採択され、現在、中部管内の環境保全に係わる活動やESD・SDGsに関わる活動に取り組む方々を支援する事業も鋭意実施中です。

令和3年度[第46期]も、前期に続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、公益目的事業としての機関誌「環境」の発行や講演会・セミナー等の開催を通して、環境に関する情報を発信することで、地域住民や事業者等に対し、環境に関する今日的テーマの普及・啓発を推進することに努めてきました。また、地球温暖化防止活動の拠点として、県内の住民や事業者の地球温暖化防止活動の活性化に向けた各種事業を実施することができました。

これからも、公益目的事業、及び受託事業等の更なる実施に努めながら、持続可能な地域社会の構築を目指し、環境の保全と創造のため、住民や事業者に向けた地道な普及啓発活動を継続的に行うとともに、住民及び事業者と行政の連携、協働による取り組みの推進役としての役割を担ってまいります。

I. 事業の実施状況

(1) 公益目的事業1 (機関誌「環境」の発行【定款第4条第1項の(5)】)

項目	事業内容 (敬称略)
会員の状況	正会員数44名(個人:40名,法人:4名) 機関誌「環境」定期購読者9名 (令和4年3月31日現在)
機関誌等の発行	<p>『環境』156号 令和3年7月4日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録1. 2050年ゼロカーボンロードマップ試案 (名古屋大学 特任教授 名誉教授 竹内恒夫) ・講演記録2. 「気候変動と防災・減災」気候リスクアセスメントと適応策 (愛知県地球温暖化防止活動推進センター 福井弘道) ・講演記録3. 「意識をそっと一押し～普及啓発におけるナッジの活用～ (中部大学中部高等学術研究所 原 理史) ・愛知県環境部重点施策 ＜令和3年度 愛知県環境局の主要事業＞ <p>『環境』157号 令和3年11月30日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録1. チベット上空のオゾン層～今、大事な研究と言われているのだが～ (名古屋大学 名誉教授 岩坂泰信) ・講演記録2. 福島原発事故と森林汚染 (名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授 肘井直樹) ・ちょっとブレイク～身近な自然を楽しむ 釣り人からの水辺だより 「ヘダイ」 (釣り人 工藤秀和) ・講演記録3. 愛知・名古屋から考える農林業のテロワール(風土)・土地利用 生物多様性条約・ポスト愛知目標を見据えてSDGsへ (名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 香坂 玲) ・寄稿 温暖化懐疑論におもう (名古屋産業大学大学院 非常勤講師 児玉剛則) <p>『環境』158号 令和4年4月1日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録1. 気候危機対策の世界的潮流 (名古屋大学大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育センター 特任准教授 杉山範子) ・講演記録2. 「地球温暖化対策推進法の改正」と 「地域脱炭素ロードマップ」について (環境省中部地方環境事務所 環境対策課長 兼 地域脱炭素創成室長 曾山信雄) ・講演記録3. エコな移動を考える (公益財団法人 豊田都市交通研究所 主任研究員 山崎基浩)

(2) 公益目的事業2 (講演会及びセミナー等の開催) 【定款第4条第1項の(4)】

項 目	事 業 内 容 (敬称略)
講演会・セミナー	<p><環境創造・環境共生講演会></p> <p>○開催：令和3年6月24日(前期総会後の講演会) 会場：ウインクあいち(参加者36名)</p> <p><講演> 講師 名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授 肘井直樹氏 演題 「福島原発事後と森林汚染」</p> <p>○開催：令和4年1月26日(特別企画) 会場：名古屋城 本丸御殿 孔雀之間(参加者30名) 主催：名古屋城調査研究センター 一般社団法人 環境創造研究センター 共催：中部大学 テーマ：【座談会】 名古屋城本丸御殿障壁画「雪中梅竹鳥図」の復元から考える ～文化財の「復元」とは？歴史資料から何が読み取れるか？～</p> <p>プログラム： 開会のあいさつ 本座談会の進め方について 座談1 名古屋城本丸御殿障壁画「雪中梅竹鳥図」の復元を巡って 2 文化財の「復元」について 3 文化財、歴史資料から何が読み取れるか？読み取るべきか？ 閉会のあいさつ</p> <p>登壇者： 涌井 史郎氏(なごや環境大学学長) 服部 英雄氏(名古屋城調査研究センター所長、九州大学名誉教授) 北本 朝展氏(国立情報学研究所教授) 村木 誠 氏(名古屋城調査研究センター副所長) 木村 慎平氏(名古屋城調査研究センター学芸員)</p> <p>進 行： 福井 弘道氏(一般社団法人環境創造研究センター、 中部大学中部高等学術研究所長)</p> <p>話題提起： 松葉 清紀氏(元愛知県環境部地球温暖化対策監)</p> <p>○開催：令和4年3月22日(後期総会後の講演会) 会場：ウインクあいち(参加者40名)</p> <p><講演> 講師 立正大学 地球環境科学部環境システム学科 教授 増田耕一氏 演題 「地球温暖化をこわがらなさすぎず、こわがりすぎないように」</p> <p><愛知県地球温暖化防止活動推進センター講演会></p> <p>○開催予定：令和3年7月上旬(運営委員会・総会後の講演会) (新型コロナウイルス感染拡大のため、中止)</p> <p><その他講演会・セミナー></p> <p>○開催：令和3年9月14日【第1回推進員研修】 会場：ウインクあいち(参加者37名)</p> <p>プログラム： 第1部：「ドイツ発、福井県版気候変動教育『ミステリー』の体験と交流」 講師：アルマス・バイオコスモス研究所代表/ (株)地域計画連合福井ワーキングルーム代表) 水上 聡子氏 第2部：「事務局からのお知らせ」</p>

○開催：令和3年10月2日【親子サイエンスカフェ in 小牧市】
会場：小牧市役所本庁舎6階 会議室（参加者21名）
プログラム：
第1部：「南極と地球温暖化」
講師：名古屋市科学館学芸員/
第56・58次日本南極観測隊夏隊員 小塩 哲朗氏
第2部：「わたしたちにできること」
（カードゲームを楽しみながら、家庭の省エネについて学ぼう）

○開催：令和3年11月17日【事業所向け省エネセミナー】
会場：こまき新産業振興センター（参加者31名）
プログラム：
1. 脱炭素社会の実現に向けて
講師：環境省中部地方感興事務所環境対策課長 曾山信雄氏
2. SDGs時代の事業所における気候危機対策
講師：中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏
3. 省エネ機器導入と補助金の活用
講師：エネルギー管理士 田中茂男氏
4. 事業所の省エネ取組事例の紹介
講師：エネルギー管理士 大河内敏博氏
5. 脱炭素社会を見据えた市内企業の取組事例
講師：株式会社ハイデック

○開催：令和4年1月28日【気候危機対策協働フォーラム】
会場：ウインクあいち（参加者52名、会場26名、オンライン26名）
主催：愛知県地球温暖化防止活動推進センター
共催：愛知県地球温暖化対策課
プログラム：
ご挨拶 愛知県環境局 地球温暖化対策課
講演1：「気候危機対策の世界的潮流～IPPC6次報告開始！」
講師：名古屋大学大学院環境学研究科
附属持続的共発展教育センター 特任准教授 杉山範子氏
講演2：「地球温暖化対策推進法の改正」と
「地域脱炭素ロードマップ」について
講師：環境省中部地方環境事務所
環境対策課長 兼 地域脱炭素創成室長 曾山信雄氏
交流ワークショップ：「気候危機対策 私たちのすべきこと・できること」
コメンテーター：杉山範子氏（名古屋大学特任准教授）
コーディネーター：原 理史氏（中部大学中部高等学術研究所）

○開催：令和4年2月10日【第2回推進員研修】
会場：ウインクあいち（参加者35名）
プログラム：
第1部：「脱炭素社会づくりと気候変動教育」
講師：北海道地球温暖化防止活動推進センター
（一般財団法人北海道環境財団）事務局次長 久保田 学氏
第2部：「事務局からのお知らせ」

(3) その他事業 (受託事業・補助事業など) 【定款第4条第1項の(1)、(2)、(3)】

<受託事業>

受託先	件名	内容
環境省中部 地方環境事 務所	令和3年度 中部環境パート ナーシップオフィス (EPO 中 部) 運営業務	<p>環境省「EPO 中部」の管理運営を行う業務であり、主に以下の事業を実施。</p> <p>①業務実施計画等の作成・公表、②EPO 中部及びESD センターの運営委員会の設置開催業務、③基本業務の実施 (情報収集・発信、相談対応及び対話の場づく、施設の維持・管理等) ④協働取組の促進のための業務 (5 機能: 協働取組モデルの創出・支援、ESD の推進、中間支援機能の強化、環境教育促進法の普及・促進、情報提供・相談対応等)、⑤中部地方 ESD 活動支援センター運営業務 (4 機能: 情報共有、活動支援、学び合い NW、人材育成)、⑥地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 (地域循環共生圏の形成支援)、⑦ESD/EPO の行事を通じた行動の変容の把握、⑧関係主体との連携及び協働に関する業務</p>
愛知県	令和3年度 地球温暖化防止 活動普及啓発事業 (*)	<p>愛知県の地球温暖化対策を強化・推進し、県民運動「あいち COOL CHOICE」を盛り上げることを目指し、以下の普及啓発事業を実施。</p> <p>①地球温暖化防止活動推進員の支援、②地球温暖化対策地域協議会の支援、③「ストップ温暖化教室」事業の調整・運営、④自治体主催イベント・ブース出展」事業の支援、⑤「夏休み！エコアップ大作戦」事業の企画・運営</p>
愛知県	令和3年度 環境学習コーデ ィネート等業務	<p>愛知県内の環境学習の実施にあたり、講師や活動場所等の提供を受けたい主体と、これら環境学習を提供したい主体との円滑なマッチングを実施。</p> <p>各主体が連携・協働し、環境学習を円滑に実施するため、環境学習の相談業務 11 件、コーディネート業務 7 件を実施。【EPO 外部資金事業】</p>
大府市	令和3年度 大府市 COOL CHOICE 促進事業	<p>環境省の「地方公共団体と連携した CO2 排出削減促進事業」を活用した業務委託であり、低炭素地域づくりに向けて以下の事業を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中小企業向け省エネセミナーによる事業活動における低炭素化の推進: ①中小企業向け省エネセミナーの開催 (2 回)、②個別相談会 (2 回) 2. 市民向け省エネ講座開催によるエコライフの普及啓発: ①親子向け省エネ講座 (2 回)、②市民向け省エネ講座 (2 回)、③市役所職員による「ゼロカーボン大府キャンペーン」(1 ヶ月実施) 3. 子ども省エネ教室による家庭へのエコライフ普及啓発: 子ども省エネ教室の開催 (2 回)

受託先	件 名	内 容
犬山市	令和3年度 犬山市 COOL CHOICE 普及促進 事業	<p>環境省の「地方公共団体と連携した CO2 排出削減促進事業」を活用した業務委託であり、低炭素地域づくりに向けて以下の事業を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光×「COOL CHOICE」：①犬山城下町エリア内フォトポイント設置、②SNS(インスタグラム)、Webシステムの構築、③Let's COOL CHOICE 犬山キャンペーンの展開(2ヶ月)、④投稿数の集計・分析を実施 2. 事業者×「COOL CHOICE」：事業所向け SDGs 貢献 COOL CHOICE セミナーの開催(1回) 3. 市民×「COOL CHOICE」：エコライフセミナーの実施(3回)、①地球温暖化への向き合い方を考える、②エコモビリティを考える、③電気を賢く安く使う 4. 子ども×「COOL CHOICE」：X博士の〇×クイズによる子ども省エネ教室の開催(2回) 5. 大学生×「COOL CHOICE」：「COOL CHOICE 普及」学生ワークショップの開催・運営(3回)
豊田市	令和3年度 環境教育用教材 改訂業務	<p>豊田市の「環境の保全を推進する協定協議会」の部会が作成した環境に対する取組や環境法令順守に関する環境教育用教材(全6冊の内、2冊)の改訂を実施。(過去3か年に渡り、当センターが教材全6冊の初版作成業務を受注。)</p> <p>今年度、改訂した教材は、「5. 水質・地下水・土壌」(A4、40P)と「6. 化学物質・リスクコミュニケーション」(A4、36P)の2冊で、それぞれの部会の修正案に基づき、教材の編集及び紙面デザインの再構成を行い、各500部印刷。</p> <p>昨年度は、「3. 大気汚染・悪臭」「4. 騒音・振動」の2冊を改訂。</p>
中部電力(株) 名古屋支店	令和3年度 エネルギー関連 施設見学企画・運營業務	<p>学生や一般市民に、エネルギー全般について共に考える場を提供することを目的に、エネルギー関連施設の見学会の企画・運営を4回実施予定であったが、新型コロナ感染拡大防止の為、すべて中止。</p>
東邦ガス(株)	ワークショップ運營業務	<p>東邦ガス「ガスエネルギー館」の敷地に整備されたビオトープ広場を活用し、ビオトープワークショップを1回開催運営。</p> <p>ビオトープ管理士の長谷川氏を講師に、中学生、及び親子連れの子どもたちを対象に、前半は生物多様性のお話、そして、後半はビオトープ広場での屋外実習を体験するワークショップを実施。</p>

受託先	件 名	内 容
木曾岬メガソーラー(株)	令和3年度 木曾岬メガソーラー環境学習支援業務	<p>木曾岬メガソーラー(株)が木曾岬干拓地に建設したメガソーラー発電所は敷地面積78ha(ナゴヤドーム約20個分)にパネル約20万枚を張り詰め、1年間で一般家庭14,500世帯分の電力を発電。</p> <p>同発電所を円滑に運営・推進するためには、地域の理解・協力が必要不可欠であり、地元の愛知県弥富市及び三重県木曾岬町、桑名市長島町の小・中学校に対する環境学習の支援を実施。</p> <p>また、地元県民・自治体等に対する地域貢献に関する事業として、「産業振興」に資する事業、その他、地域活性化に資する「独自提案」に関する事業を継続実施。</p>
独) 環境保全再生機構	「令和3年度 地球環境基金助成金説明会」の開催に係る業務	<p>中部地域における「令和3年度地球環境基金助成金説明会」をオンラインで開催。</p> <p>併せて、テーマ別セミナーとして、講演「気候危機とSDGs～私たちのライフスタイルを考える～」を実施。また、中部地域の活動事例紹介として、『「COOL CHOICE」普及啓発に資する『ナッジ』の応用手法の研究と適用』(一般社団法人環境創造研究センター[2018・2019・2020年度/ひろげる助成])を紹介。</p> <p>【EPO 外部資金事業】</p>
東京海上日動(株)/日本NPOセンター	「令和3年度 グリーンギフト地球元気プログラム事業」運営支援業務	<p>東京海上日動(株)がCSR事業として実施している「グリーンギフト地球元気プログラム事業」の運営支援を実施。</p> <p>中部地域では、愛知県(もりの学舎自然学校)、福井県(小原ECOプロジェクト)、三重県(Joint Plus)の3事業の地域活動団体等を支援。</p> <p>令和3年度は、新型コロナ感染拡大防止の為、環境学習イベントは、福井県で1イベントのみを実施。その他は代替事業として、愛知県は「げんきの森の生きもの図鑑」、三重県は「紙芝居～森の輝きの年齢～」を作成。</p> <p>【EPO 外部資金事業】</p>

<補助事業>

補助元	件 名	内 容
環境省／全国センター	令和 3 年度 地域における地球温暖化防止活動促進事業（愛知県センター）（*）	<p>温対法に基づき、地域における地球温暖化防止活動の基盤を形成するとともに、低炭素社会の構築を目指す活動促進業務。</p> <p>通常事業として、以下の事業を実施。①「地球温暖化対策に関する啓発・広報」、②「地球温暖化防止活動推進員の支援」、③「民間団体等の実態把握と支援」、④「温室効果ガスに関する相談・助言等」、⑤「排出実態の把握・分析」、⑥「連絡調整会議の設置と開催運営」を実施。</p> <p>令和 3 年度も、『特別提案事業～SDG s と絡めた事業所における気候危機対策/「2050 年カーボンニュートラル」を見据えた事業所関係者の行動変容を促す普及啓発～』が採択され、以下の事業を実施。①事業所向け省エネセミナーの開催(1 回)、②事業所向け省エネ個別相談会(1 回、4 社)、③事業所向け個別訪問ウォークスルー診断(簡易診断)による省エネ支援(2 社)を実施。</p>
経済産業省/環境共生イニシアチブ	令和 3 年度（省エネルギー相談）地域プラットフォーム構築事業	<p>西三河地域首長誓約協議会の 3 市に省エネ相談地域プラットフォームを構築し、12 事業所の省エネ相談に対応。</p> <p>省エネ相談では、中小企業等の省エネ診断の実施や運用改善、設備更新など、省エネ活動の PDCA サイクル実施に向け、取組みへの誘導・支援を実施。</p> <p>具体的には、相談窓口の設置・運営、広報活動、省エネ相談・支援の実施、中小企業向け省エネ実践セミナーの実施（オンライン開催）。</p> <p>さらに、個別事業所内の社員研修を実施。また、省エネ診断の案内や実施事例の紹介等も実施。</p>

備考) (*）印は、愛知県温暖化防止活動推進センターの指定に伴う事業。

II. 総会・役員会等の開催状況【定款第4章、第6章】

項目	開催状況
総会の開催	<p><総会></p> <p>第90 通常総会〔令和3度前期〕 開催：令和3年6月24日 会場：ウインクあいち 議案：令和2年度〔第45期〕事業報告案について 令和2年度〔第45期〕決算報告案について 任期満了に伴う理事・監事の選任案について その他 出席者：会員44名のうち25名（うち委任状：17名）</p> <p>第91 通常総会〔令和3度後期〕 開催：令和4年3月18日 会場：ウインクあいち 議案：令和4年度〔第47期〕事業計画案について 令和4年度〔第47期〕収支予算案について その他 出席者：会員44名のうち27名（うち委任状：20名）</p>
役員会の開催	<p><理事会（役員会）></p> <p>令和3年度前期理事会（出席者：5名/6名） 開催：令和3年5月24日 会場：オンライン開催（ホスト会場：環境創造研究センター） 議案：令和3年度（前期）通常総会の開催について 令和2年度〔第45期〕事業報告案について 令和2年度〔第45期〕決算報告案について 任期満了に伴う理事・監事の選任案について その他</p> <p>令和3年度後期理事会（出席者：5名/7名） 開催：令和4年2月14日 会場：ウインクあいち 議案：令和3年度（後期）通常総会の開催について 令和4年度〔第47期〕事業計画案について 令和4年度〔第47期〕収支予算案について その他</p>
企画委員会の開催	<p><企画委員会></p> <p>令和3年度第1回企画委員会（出席者：4名） 開催：令和3年10月13日 会場：中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部） 内容：意見交換 （1）令和3年度の業務実施状況について （2）「EPO 中部運營業務」について （3）「愛知県地球温暖化防止活動推進センター業務」について</p> <p>令和3年度第2回企画委員会（出席者：5名） 開催：令和4年2月8日 会場：中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部） 内容：意見交換 （1）現在の業務実施状況について （2）今後の運営方法について</p>

